

2014 年 大 発 会

1月6日、2014年のスタートを切る大発会を行いました。

福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、市場関係者約80名の皆様にご出席をいただきました。奥井理事長が年頭の挨拶を行い、引き続き理事長の音頭により、本年が証券界にとって昨年以上にいい年になるよう祈念して、吉例の「博多手一本」を入れました。



続いて鈴木理事（ふくおか証券株式会社 代表取締役会長）の音頭により威勢よく、乾杯を行いました。



晴れ着の方々の記念撮影も行われました。



2014年も福岡証券取引所のお引立てをよろしくお願いいたします。

理事長挨拶 (2014 年大発会)

新年明けましておめでとうございます。理事長の奥井でございます。平成26年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年は大変暖かい年明けとなりました。皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。本年も福証のお引き立ての程、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年といえば、まずは「干支」の話になりますが、今年の干支は午（うま）であります。ご承知の方も多いと思いますが、午年（うまどし）の相場格言は「午（うま）尻下がり」とされています。

これを縁起でもないと思われるむきもあるかと思いますが、私はむしろ、「尻馬に乗るな」、「調子に乗るな」という事を諭す相場教訓であるというふうに向きに捉えたいと思っています。

過去の午年（うまどし）について、日経平均株価をみますと、デフレ不況下の平成14年、更に一つ前のバブルが崩壊した平成2年には大きく下げています。しかし、もう一つ前の昭和53年のように大きく上げた年の例もあります。今年は上げる年廻りになってほしいと思います。

干支に採用されている動物の馬は、「馬力」と云う言葉に象徴されますように「力持ちの代表」であり、また、「物事がウマくいく」、「幸運が駆け込んでくる」などと縁起がよいことにもかけられます。

本年の株式市場が、この「馬の力」にあやかって力強く駆け、皆様には是非、幸運をウマく運び込むものになって欲しいと願っています。

さて、昨年の我が国は、「デフレ経済からの脱却」と「日本再生」を目指して推進する「アベノミクス」の効果や円安の追い風もあって、経済活動に徐々に明るさが戻り、ようやく前に進み出す兆しが見えてきた一年となりました。

そのような中、今年は、「TPP交渉」や新たにエネルギー基本計画で「ベース電源」と位置付けられる原子力発電の再稼働問題など重要な懸案が昨年から本年に持ち越されています。本年は是非、こうした問題が早期に安着し、アベノミクスの第三の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」の確実な実行と相俟って、我が国の景気が本格回復の軌道に乗って欲しいものです。

そして、地域経済の活性化、中小・零細企業の活性化を促し、4月の消費税引き上げを乗り越え、強い日本経済を取り戻してほしいと願うところです。

又、私共が係わります株式市場は、昨年、アベノミクスを好感して平成20年のリーマンショック以降の低迷から一変し、久々の活況に沸いたところであり、福証にありましてもその売買代金は800億円を超え、平成10年以降の16年間で最高額を記録しました。

新規上場につきましても、昨年は全国で54社と一気に増加しましたが、福証にありましても東証との重複でタマホーム、単独でアメイズの2社の新規上場があったところです。

今日から「NISA」が始まります。本年も景気の本格回復とともに昨年以上に株式市場が賑わうことを期待しています。

ここで、福証から誠に慶ばしい報告が一つございます。本日、これまで非会員証券会社でありました地元の西日本シティTT証券様が本所の一般正会員に加入されました。先ほど、この大発会の前に会員証の交付をさせていただいたばかりでございます。

同社の新規加入は、福証にとりまして誠に心強いものであり、これから会員としての業務活動を通じてこれまで、地域密着の事業運営で業績を挙げてこられました。地元企業の育成等、地域経済の活性化ひいては福証市場の活性化にこれまで以上に貢献していただけるものと期待しています。

終わりになりますが、福証は地域密着の取引所として九州を中心とした地域経済を支え、その活性化に尽力することを使命としています。その使命をきちんと果たす事で本年も地域から信頼され、地域の皆様の使い勝手のよい取引所を目指し、その活性化に役職員一丸となって取り組んで参りますので、市場関係の皆様には格段のご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。